

総合

ミライとのen結び

達成感を日々感じられるミライへ

SDGs 17 住み続けられるまちづくりを

～巨大都市の防災へと取り組むまちづくり～

テーマ設定の理由は？

現代、南海トラフ巨大地震や首都直下地震など、さまざまな地震への不安があります。私の目指す「達成感を日々感じられるミライ」を目指す際に、日常から自信が起きたらどうしよう、今は本当に大丈夫だろうかといった不安に溢れていると、達成感なんて考えていません。その一方、世界的に見れば人口は爆発的に増加していると言われています。すでに巨大な人口を抱えている巨大都市の様子を見学し、今後人口が増えていっても日本は大丈夫なのか、地震対策は人口が多くても完璧にされているか、どのようなことがされているか調査すれば安心して、達成感を日々感じる生活への第一歩となります。

SDGs17番の現状は？

2024年までの日本ではSDGs[11]は、重要な課題が残る

なぜ「重要な課題が残る」に判断されたのだろうか

SDGs11のを細かく分類したとき、「目標11-B」の
“(前略)気候変動への対策や災害への備えをすすめる総合的な政策や計画をつくり、実施する都市やまちの数を大きく増やす。(中略)あらゆるレベルで災害のリスクの管理について定め、実施する。”と書いてあります。
([unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/11-cities/](https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/11-cities/)より一部抜粋)
日本は地震大国と呼ばれるほど災害リスクが高く、2024年元日の能登半島地震でも建物の倒壊などが多く報じられていたように、地震へのリスク管理が不十分だからだと考えました。

SDGs17の具体的な現状は？

現在の私たちの住む地区と比較したとき、都市化が進み人口が増加すると地震が発生後にどのような問題が発生するか考えてみたところ、下記のようにになりました。

「①隣人関係が薄くなり共助の妨げになる」

「②多くの人が一斉に帰宅しようとして帰宅困難者になる」

「③救助が追いつかない」

②の帰宅困難者問題は①～③の中で最も身近、一人一人の努力でどうにかできそうと考えます。

[過去の事例]

2011年3月の東日本大震災の際には震災後すぐに企業の社員らが帰宅指示を受けて公共交通機関へ集中したものの当時は未だ交通は震災後の安全確認等を理由に運休していたため、社員らは帰宅困難者になってしまいました。

その後、鉄道・バス各社の尽力により運転が再開したが運びきれず、終夜運転など特別な対応をしましたが多くの人が野宿をしてしまいました。

その反省を生かし、東京都では「東京都帰宅困難者対策条例」を制定し、企業は震災後に一斉帰宅ではなく待機させるなど対応が記されました。

今後私たちはなど、様々な場面でどうするべきか認知する必要性を深く感じました。

「さまざまな場面でどうすべきか認知」って

具体的に特にピンチになるのは？

もし、自宅から

外出しているときに地震が来たら…

東日本大震災では約〇%の人が自宅外にいたそうです。
ただ、南海トラフ巨大地震や首都直下地震はいつかわからない。
日付だけでなく、時間も分からないからこそ、家じゃない場所で
地震が来たらどうするか、対策をする必要があることを強く
感じました。例えば、買い物をしてる時、無人駅で電車を待つ時、
塾に向かって一人で歩いている時、人混みの中でうずくまる時…
正直私もどうしたらいいか家ならともかく外なら分からない、
そう感じさせられました。

東京の「防災へと取り組むまちづくり」は？

帰宅困難基礎知識

取材場所:そなエリア東京

〈私たちのできる対策〉

- ▷ 会社のロッカーに水や食料を備蓄 [学校の場合(一例)] 倉庫で保管→場所を把握
- ▷ 途中まで帰るルートが同じ人を知る [目的] 互いに助け合いながら帰宅するため
- ▷ 避難地図を作っておく [内容] よくいく外出先の避難場所・経路
- ▷ 帰宅支援ステーションの位置を確認
- ▷ 帰りのルートを複数確認
- ▷ 徒歩での帰宅を普段から

〈多分役に立つ知識〉

- ▷ 備えれば車は小さな避難場所に！

東京の「防災へと取り組むまちづくり」は？

東京都千代田区取り組み

取材場所:東京メトロ・都営大手町駅付近地下通路

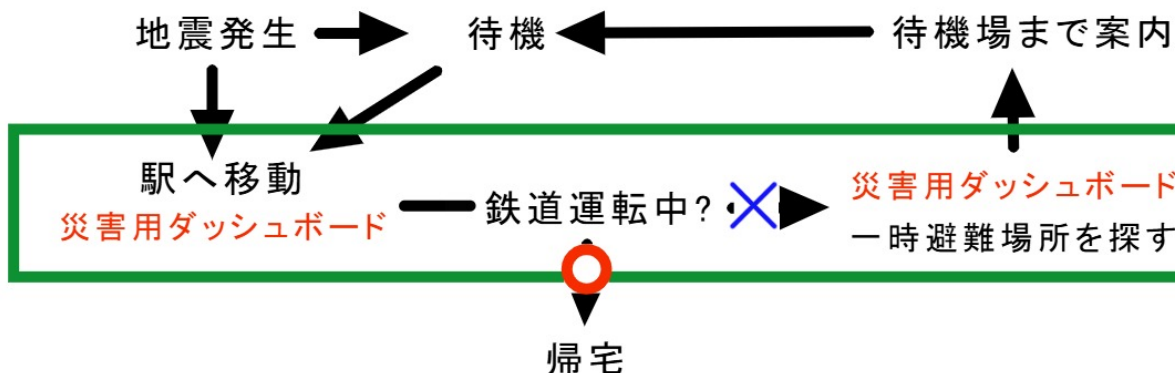
千代田区災害用ダッシュボード

[大手町駅]1日平均約31万人が利用する駅

メトロ・都営計5路線のターミナル

→災害時の鉄道運行状況や一時避難場所案内システム
大手町駅の改札付近や駅長室付近にQRコードを貼付

このシステムのメリット



駅での滞留を減らす
→混乱を減らす

〈QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です〉

帰宅困難者問題はこうしたらいい？

帰宅困難者の問題

どんなことが問題か考えた結果が下記です。

- 何をすべきだかわからないままに行動をする
- 駅などで人が滞留する
 - 雑踏事故につながりかねない
- 帰る手段がわからない
- 連絡手段がない

帰宅困難者問題はどうしたらいい？

帰宅困難者を対策

- 何をすべきだかわからないままに行動をする
- 駅などで人が滞留する
→雑踏事故につながりかねない
- 帰る手段がわからない
- 連絡手段がない

上記のような課題を解決するために、

だれもが事前にどうしたらいいか把握・決定しておくで解決になります。

そのために、

みんなにあらゆるシチュエーションになってしまった時に
どうすればいいか、最適解になる行動は何か知ってもらいたいです。

その手段として、

webサイト制作で事前知識を頭に入れ、考えたうえで、
いざというときに確認して帰宅困難者にならないようにしてもらいます。

夏休みに実践したことは？

- ①愛知県最大の都市、名古屋市で一時退避場所の様子の見学
- ②Google Mapを活用した「案内つき一時退避場所マップ」作成
- ③上記の2点をcanvaでwebサイトにまとめる

①一時退避場所ラリー

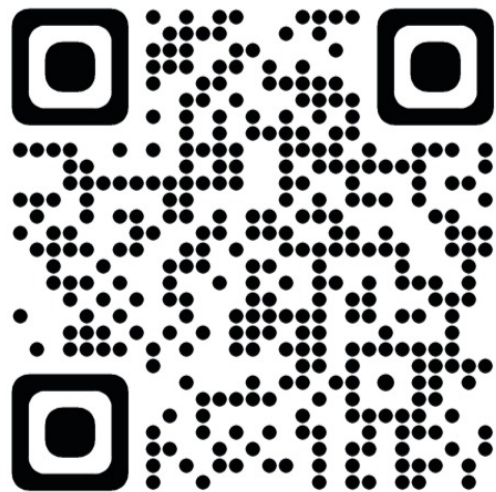
一時退避場所は退避できたらいい場所ですがそれだけではありません。特に、最近は夏の酷暑が続き、生活に支障をきたすレベルまで来ました。7月30日のカムチャッカ半島沖地震に伴う津波の際にも、避難所では暑さゆえ熱中症対策が行われていたことが報じられていました。そのため、名古屋市内の私の比較的よくいく「名駅地区」と「ささしま地区」についてその場で地震発生、一時退避場所での待機を想定して指定されている地区を見学してきました。

夏休みに実践したことは？

①一時退避場所ラリー 実践結果

①一時退避場所ラリー

最初は正直どこも一緒だろうと思っていましたが、施設一つ一つに特徴があって私にあったところを見つけ、そこにいくことがより安心できると感じました。詳細は下記のサイトに記述しましたのでご確認ください。パスワードが要求されるので、【Kitaku-1】全て半角で【】の中を入力してください。



<https://ie-kaeru.my.canva.site/>



夏は日向に行かないほうがいい

コンビニ&日陰orエアコンがベスト!



夏休みに実践したことは？

①一時退避場所ラリー 実践結果

①一時退避場所ラリー

見学してきた施設の中でも、私の想像した価値観6つでどれが適していて、どれが適していないのか行った施設から厳選して一部を紹介します。

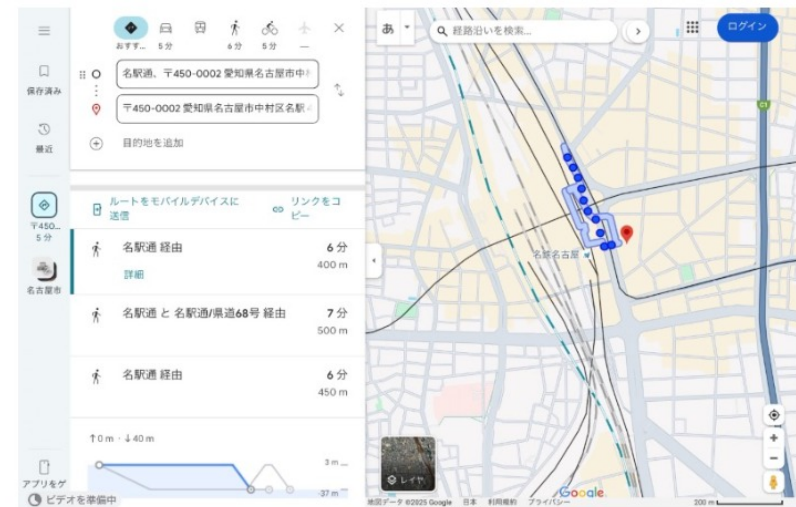
人の様子	おすすめスポット	やめたほうがいいスポット
時間がない	名古屋駅 名鉄BC	堀止緑地 一号公園高架下広場
混雑が苦手	一号公園三井ビル	名古屋駅 名鉄BC
エアコン必須	三井ビル モード学園	一号公園 名古屋駅 堀止緑地
コンビニ近く	三井ビル 一号公園	JICA中部
飲食店近く	一号公園 モード学園	特になし
待ち合わせ	名古屋駅 名鉄BC	

夏休みに実践したことは？

②案内付き一時避難場所マップ 実践結果

②案内付き一時退避場所マップ

Google mapのmy map機能を利用し、名古屋市の公式資料のもと、**一時退避場所をまとめた地図**を作成しました。もとはGoogle mapなので従来の**道案内機能**が利用でき、簡単に目的地へ辿り着けます。今後、①のように**実際に行ったところは感想**をマップにも記入したり、名駅地区や笹島地区だけでなく伏見栄地区、金山地区といった**他の場所**、資料が見つかり次第豊田市や知立市など**身近な地域**でのバージョンを作成していきたいです。

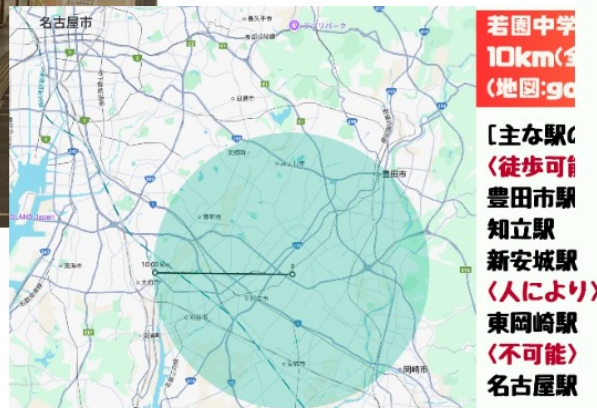


夏休みに実践したことは？

③ canvaWEBサイト 実践結果

③ canvaWEBサイト

①や②などの情報を生かし、今年の総合の集大成として作成しました。見やすく、デザイン性のいいサイトを目指したものの、未だスマホだと画面比率がおかしくなり、大変見づらかったり中央の画面に関してはもはや表示内容が変わっていたりと、「緊急時に見る」という本来の目的を達成できるようアップデートを続けたいです。



運転再開! ついに家に帰れる?



地震ということで、**駅周辺は大混雑**です。
焦らず、ゆっくり、周りをよく見て家に帰りましょう。
最後に、自分中心ではなく**周り中心**です。
このような時は**75%が固まり、15%が泣き喚き、残りの10%が冷静に判断**できそうです。ここまで読んでくれたみなさんはおそらく10%になれる。残りの**90%は気配りできる状況ではない**からこそ10%の自覚を持って優しく、周囲に配慮して家に帰ってください。



協力をお願いしたいこと

SDGs 17 住み続けられるまちづくりを を達成するために

webサイトも活用して、
「もしも今この場で地震が起きたらどうするべきか」
を考えて欲しい

災害時は75%が固まり、15%が泣き喚き、残りの
10%が冷静に判断できると言われているのでその
10%になれるようにして欲しい。

参考にした資料

〈参考にした資料〉

[]内は閲覧日/訪問日

関西NEWS WEB 和歌山沿岸部に津波警報 北海道や東海ではすでに津波観測[2025 8/1]

<https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20250730/2000095699.html>

東京メトロ大手町駅構内の掲示[2025 6/4]

内閣防災情報サイト [2025 7/29]

https://www.bousai.go.jp/kaigirep/chuobou/senmon/shutohinan/6/pdf/shiryoku_4.pdf

<https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/kitaku/2/pdf/4.pdf>

そなエリア東京(展示) [2025 6/4]

<https://www.tokyorinkai-koen.jp/sonaarea/>

仙台市ホームページ「仙台防災枠組」推進に向けた取り組み [2025 8/6]

<https://sendai-resilience.jp/sfdr/>

国土交通省ホームページ D 地域のモビリティ確保の知恵袋2012～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～ [2025 8/6]

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000037.html

東京都防災ホームページ 帰宅困難者に対する支援 [2025 8/6]

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000050/1000282.html

名古屋市(公式資料) [2025 8/5]

https://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/cmsfiles/contents/0000075/75609/ankaku_ver3_R207.pdf

<https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanr>

NHK防災 地震で帰宅困難者になったら？新たな対策は“帰らない” [2025 8/6]

<https://www.nhk.or.jp/bousai/articles/21811/>

千代田区(公式資料) [2025 6/4]

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/bosai/bosai-taisaku/kitaku/index.html>

unicef SDGsクラブ [2025 8/6]

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/11-cities/>

〈使用したツール〉

canva(webサイト制作)

google map (my map制作)